

<p>【技術の名称】 DSネジプレート定着工法 -ねじ節鉄筋を用いる機械式定着工法- (改定3)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-18号 改3 性能証明発効日：2012年4月16日</p> <p>【取得者】 J F E 条鋼株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、JIS G 3112 の異形棒鋼の規定に適合するねじ節鉄筋「DS ネジバー」を使用し、雌ねじを有する定着金物「DS ネジプレート」を、このねじ節鉄筋の端部に結合することにより、異形鉄筋をコンクリート部材に機械的に定着する技術である。鉄筋と定着金物の間に生じるがたは、無機グラウト材または有機グラウト材を充填する方法でなくしている。

【技術開発の趣旨】

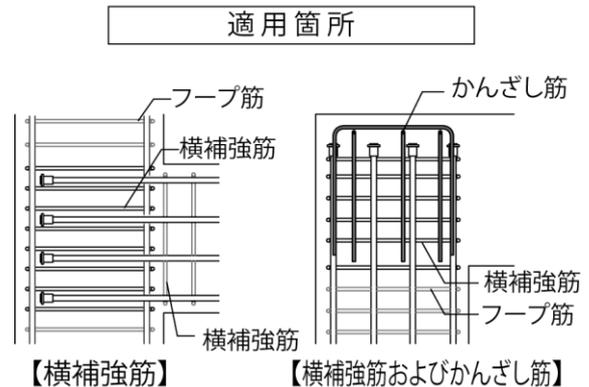
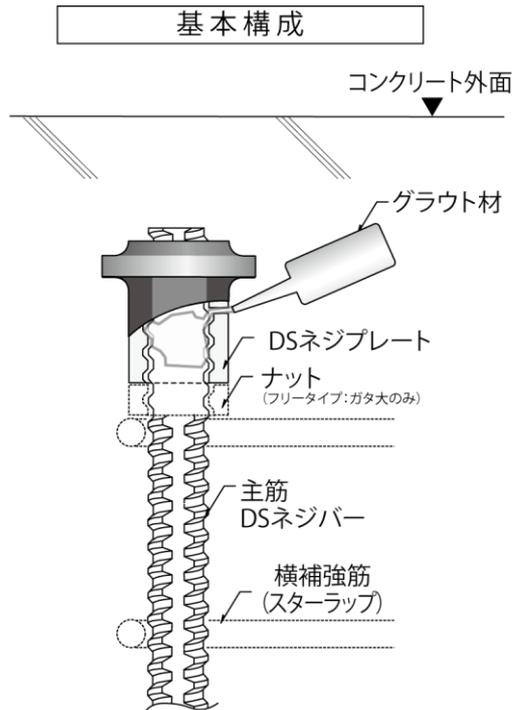
従来の折り曲げフックを用いた鉄筋定着工法では、鉄筋の高強度化や太径化により曲げ加工が困難であったり、定着長さが長くなったりする問題が生じる。本技術は、そのような問題を解消し、配筋施工の合理化を図ることを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

申込者が提案する「DS ネジプレート定着工法」に用いる DS ネジプレートは、鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷しない性能を有し、「DS ネジプレート定着工法 設計指針」によって設計される DS ネジプレートを用いた異形鉄筋の定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すること。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第07-18号 (2007年11月6日)
 改定1:GBRC 性能証明 第07-18号 改(2009年3月3日)
- ・適用範囲の追加 (最上階の T 形、L 形柱梁接合部に適用)
- 改定2:GBRC 性能証明 第07-18号 改2(2011年6月1日)
- ・設計指針の変更 ((財)日本建築総合試験所・機械式鉄筋定着工法研究委員会「機械式鉄筋定着工法設計指針(2010年改定)」に準拠)
 - ・適用範囲の追加 (最上階の柱 RC 梁 S 接合部および柱 SRC 梁 S 接合部における柱主筋定着に適用)
 - ・フリータイプの使用方法を変更 (固定ナット無しでの使用を可とする)
- 改定3:GBRC 性能証明 第07-18号 改3 (今回)
- ・申込者の社名変更 (設計指針及び施工要領書の表記を変更)



【本技術の問合せ先】